



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

2020年12月27日朝刊

天は自ら助くるものを助く ■ 一人の命は全地球より重い

西国立志編 刊行150年



中村正直

原著は英著述家サミュエル・スマイルズの「セルフ・ヘルプ(自助論)」。英国留学から帰国後、静岡学問所教授を務めた中村は仕事の傍らに翻訳を手掛け、明治3~4(1870~1871)年に西国立志編が刊行された。同書は西洋の偉人約300人の逸話的伝記を集め、明治

「天は自ら助くるものを助く」「一人の命は全地球より重い」などで有名な本俣ゆかりの教育者・思想家、中村正直の翻訳本「西国立志編」が刊行され、今年で150年。静岡市葵区の中村の旧宅跡に、近隣で縁のある富春院住職の鈴木真道さん(76)が記念碑を建てた。鈴木さんは「新型コロナウイルス禍に見舞われる現代こそ、自助や自立、命を重んじた当時の心を大切にしたい」と訴える。

中村正直 旧宅跡 静岡 に記念碑

「当時の心を大切に」

の新時代を生きる日本人を支えた。当時、福沢諭吉の「学問のすすめ」と並んで全国的なベストセラーとなり、異例の100万部を売り上げたと言われる。小学校の道徳教育の教科書にも採用された。富春院には正直が書を刻んだ石碑や位牌(いはい)などがあり、かつては正直の教えを継承する人々たちによる顕彰会も活動した。その縁で今回の建立が実現した。「日本人の心に伝(こ)たまし、問いかけ続けてきた書。記念碑にはこう刻まれる。鈴木さんは「今を生きる私たち



新たに建立した記念碑を見つめる鈴木さん
静岡市葵区大岩本町

Q 中村正直(なかむら・まさなお) 1832~91年。現在の東京都出身。号は敬宇(けいう)。父親は伊東市宇佐美出身の幕臣だった。儒学や英学を学び、1866年に幕命で渡英。私塾「同人社」を開き、近代日本最初の学術団体「明六社」の設立にも参加した。東大教授や貴族院議員なども歴任した。

①静岡県にゆかりの教育者で思想家である中村正直の著書「西国立志編」は、イギリスの著述家であるサミュエル・スマイルズの著書を翻訳したものである。その著書を何というか。記事中から抜き出して答えなさい。

()

②記事中の 中村正直 が教授に就いた 静岡学問所は、1868年に徳川家達を藩主とする駿府藩が設立した藩学校が起源であった。徳川氏によって、フランス軍制による近代的な陸軍将校の育成を目的に、同じ時期に沼津の地に設立された学校を何というか。

()

③中村正直や福沢諭吉、西周らが1873年に結成した近代日本最初の学術団体である明六社が発行した機関誌のことを何というか。

()

④静岡市の中村 正直 の旧宅跡に、近隣で縁のある住職が記念碑を建てたのはなぜか。記事を参考にしながら、説明しなさい。

()

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(高校/社会)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

解答例

2020年12月27日朝刊

天は自ら助くるものを助く ■ 一人の命は全地球より重い

西国立志編 刊行150年



中村正直

原著は英著述家サミュエル・スマイルズの「セルフ・ヘルプ(自助論)」。英国留学から帰国後、静岡学問所教授を務めた中村は仕事の傍らに翻訳を手掛け、明治34(1870)~37(1874)年に西国立志編が刊行された。同書は西洋の偉人約300人の逸話的伝記を集め、明治

中村正直 旧宅跡 静岡 に記念碑

「天は自ら助くるものを助く」「一人の命は全地球より重い」などで有名な本俣ゆかりの教育者・思想家、中村正直の翻訳本「西国立志編」が刊行され、今年で150年。静岡市葵区の中村の旧宅跡に、近隣で縁のある富春院住職の鈴木真道さん(76)が記念碑を建てた。鈴木さんは「新型コロナウイルス禍に見舞われる現代こそ、自助や自立、命を重んじた当時の心を大切にしたい」と訴える。

「当時の心を大切に」

の新時代を生きる日本人を支えた。当時、福沢諭吉の「学問のすずめ」と並んで全国的なベストセラーとなり、異例の100万部を売り上げたと言われる。小学校の道德教育の教科書にも採用された。富春院には正直が書を刻んだ石碑や位牌(いはい)などがあり、かつては正直の教えを継承する人々たちによる顕彰会も活動した。その縁で今回の建立が実現した。「日本人の心に伝(こた)まし、問いかけ続けてきた書。記念碑にはこう刻まれる。鈴木さんは「今を生きる私たち



新たに建立した記念碑を見つめる鈴木さん
静岡市葵区大宮本町

Q 中村正直(なかむら・まさなお) 1832~91年。現在の東京都出身。号は敬宇(けいう)。父親は伊東市宇佐美出身の幕臣だった。儒学や英学を学び、1866年に幕命で渡英。私塾「同人社」を開き、近代日本最初の学術団体「明六社」の設立にも参加した。東大教授や貴族院議員なども歴任した。

①静岡県にゆかりの教育者で思想家である中村正直の著書「西国立志編」は、イギリスの著述家であるサミュエル・スマイルズの著書を翻訳したものである。その著書を何というか。記事中から抜き出して答えなさい。

(**セルフ・ヘルプ(自助論)**)

②記事中の 中村正直が教授に就いた 静岡学問所は、1868年に徳川家達を藩主とする駿府藩が設立した藩学校が起源であった。徳川氏によって、フランス軍制による近代的な陸軍将校の育成を目的に、同じ時期に沼津の地に設立された学校を何というか。

(**沼津兵学校**)

③中村正直や福沢諭吉、西周らが1873年に結成した近代日本最初の学術団体である明六社が発行した機関誌のことを何というか。

(**明六雑誌**)

④静岡市の中村 正直 の旧邸宅跡に、近隣で縁のある住職が記念碑を建てたのはなぜか。記事を参考にしながら、説明しなさい。

(**(例)2020年が中村正直の翻訳本「西国立志編」が刊行されてから150年の節目の年にあたり、新型コロナウイルス禍の中で著書に述べられた自助や自立、命を重んじる当時の心を伝えたいと考えたから。**)

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(高校/社会)